

## 四季の彩り映える里山公園づくり事業

### 取組に至る背景・事業の目的

飯田市川路地区の中心部には、国道 151 号沿線に広がる 7,400 m<sup>2</sup>にもおよぶ里山があるものの、これまで手入れがされず、荒廃地化が進行していた。

このような状況を打開し、再び区民の憩いの場として再生するため、区民総参加による協働事業で整備に取り組むこととなった。

### 事業内容

荒廃してしまった里山を再生するため、平成 24 年度から 3 年計画で、支障木の伐採、間伐、植栽、遊歩道整備、ベンチ製作及び設置等を区民の協働作業により取り組む。

大人のみでなく、植栽作業に地域の子どもたちも参加することで、環境や里山保全の大切さを学ぶ場としている。

○H24～25 年度

支障木の伐採、間伐、植栽、遊歩道整備、ベンチ設置

○H26 年度予定

間伐、遊歩道整備、東屋修繕、水道敷設



【里山公園整備の様子】

### 事業効果

これまでに実施した 2 年間の作業により、里山の景観再生、遊歩道整備が進み、里山公園としての環境が整った。これにより、荒廃が進み誰も寄り付かなかった場所が、お花見や紅葉狩りの適地として広く区民が訪れる憩いの場となりつつある。

植栽作業には、地域の子ども達も参加することで、里山整備や環境保全の大切さを学ぶ機会となったほか、地域を愛する心の醸成にも繋がるものとなった。

年 2 回の区民総出の作業には、区民の約 8 割が参加し、住民相互の交流促進や絆の強化といった面の効果も大きい。

さらに、愛護会も設立され、この川路四区が取組がモデルとなり、他地区の里山整備の取組に波及している。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

平成 26 年度は、更に竹林伐採を始め、間伐面積を拡大し、新たな遊歩道の整備を進めるとともに老朽化した東屋の改修を行う。また、植栽管理のための水道の敷設等を行い、区民の憩いの里山公園として機能の充実を図る。

また、新たに立ち上がった愛護会「公園を愛する会」の会員を若者や女性に拡大し、今後の公園の維持管理体制を充実し、月の「4」の付く日に今後も整備を継続していく。

#### 【選定のポイント】

景観整備活動により地域住民が花見や紅葉狩りを楽しめる公園となった。共同作業により子どもの社会教育、高齢者の生きがいづくりにつながっており、地域全体で地区の公園を管理していくという機運が醸成されている。区民の作業への参加率が非常に高く、他地区への波及も見られるなどモデル的な取組である。

団体名	飯田市川路四区	事業タイプ	ソフト
連絡先	事務局 吉川 武夫 (0265-27-3672)	事業費	548,472円
		支援金額	411,000円